



《初夏の清流》

鉢盛おろし

「短夜」を楽しむ

6月21日の夏至が過ぎ、冬至に向けて少しずつ日の入りが早くなり夏本番に向けて風や日差しも変わっていきます。日々の生活が忙しい時代を生きる私たちは、そうした小さな変化に気付いたり感じたりする機会を意識しないと忘れてしまうものです。日本には古くから伝わる美しい言葉、「大和言葉」があるのをご存じでしょうか。俳句やことわざ、挨拶文などで一度は見聞きしたことがあると思います。言葉には発した人の思いが込められています。四季のある日本には、季節にまつわる大和言葉が多く存在し、四季を慈しむ美しい心は古の人々によって表現された言葉を一つ紹介したいと思います。

「短夜（みじかよ）」とは、夏の夜が短い様子を表した言葉で「たんや」とも読みます。日が一番長い夏至の頃を表した季語としても使われています。太陽がまぶしく活動的な日中に対して、夜は暗闇のなか心と体を休めるための時間。薄暗い夜空は心を落ち着かせてくれます。あつという間に夜明けがやってくる夏の夜を惜しむ、どこか儂げな大和言葉です。この他にも朝日村に限らず長野県には雄大な自然があり、素敵な大和言葉に出会える場所や食べ物がたくさんあります。旬の食べ物を味わったり県内の温泉地や神社仏閣を巡ったり、個性豊かなクラフトビールを飲んだり家族と話す時間を大切にしたりと当たり前前に感謝し小さな変化を楽しんでみる。短夜を楽しく幸せに過ごすための機会を大切にして欲しいと感じます。

「デジタルとしよ信州」スタート



市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」が8月5日(金)よりスタートします。長野県民はだれでも、いつでも、どこからでも、パソコンやスマホ、タブレット端末などを使って「デジとしよ信州」のウェブサイトにログインし、読みたい電子書籍を選び、借りて、読むことができますようになります。

コロナ禍での長期の臨時休館をきっかけに、感染症や災害等に影響されずに図書館サービスをいかに継続して提供し、利用者に変わらず本に親しんでもらえるかが課題となっていました。また、図書館が近所がない、生活時間と開館時間が合わずに利用しづらいといった従来からの課題に加え、読書バリアフリー法(視覚障害者等の読書環境の整備)などの社会変化にも対応するため、県内の全77市町村と県による協働電子図書館サービスが

始まることになりました。他県でも各自治体や県立図書館単位で電子図書館の導入は進んでいます。市町村と県による協働サービスは初めてのことです。



令和4年版 2022 市町村と県による協働電子図書館

長野県民はだれでも いつでも どこからでも

パソコン・スマホ・タブレットで読む
電子書籍(コンテンツ)……77市町村で分担購入

電子図書館(プラットフォーム)……県立図書館で維持
(本棚のような役目)

県立図書館
公民館図書室
市町村立図書館

協働電子図書館運営委員会

電子図書館の窓口のない自治体の住民
県立図書館を通じて申請

電子図書館の窓口のある自治体の住民
住所のある自治体で申請



● **電子書籍数・内容**

小説やライトノベルなどの読み物だけでなく、レシピ本、ビジネス書などのさまざまな実用書や、子どもの本、英語の本などがあります。個人向けの電子書籍とは異なり、公共図書館を通じたサービスが出版社等から許諾されているものが対象となり、初年度は1万8千冊ほど



● **利用申込**

朝日村にお住いのみなさんは、朝日村図書館カウンターにて電子図書館の利用申込(6月8日より受付中)を行ってください。朝日村図書館を利用されたことがない方も、図書館の利用者登録と電子図書館の利用申込を同時に行うことができます。

【村立朝日村図書館】
〔開館時間〕9時～17時(月・火休館)
☎ 99-11007

● **貸出**

- ・貸出することができる電子書籍の点数は1人につき2点以内。
- ・貸出期間は7日間(期限を過ぎると自動で返却されます)。
- ・7日間延長可能(延長は1回のみ)。
- ・365日、24時間の利用が可能。



スタート。電子書籍の追加要望がある場合はぜひ図書館カウンターまで。

将来的には音声読み上げ機能や、動画・音声などが埋め込まれ、デジタルの優位性を活かせる電子書籍の提供も検討されています。

● 予約

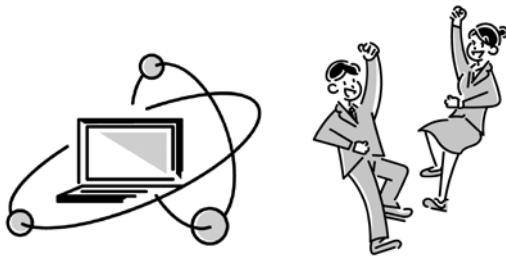
- ・貸出を希望する電子書籍が他の利用者に貸出されている場合は予約することが可能(2点まで)。
- ・取り置き期間は、貸出しが可能になった日から7日間。
- ・予約した資料が貸出し可能になったことをメールで通知を受け取ることも可能。



電子図書館は図書館の蔵書を電子書籍化して貸し出すものではなく、出版社などの電子図書館サービスを利用して提供されます(加えて郷土資料などをデジタル化して貸し出している事例もあります)。購入して半永久的に蔵書とできるわけではない一方、書架の制限はなく、人気がある本を期間限定で貸出可能数を増やして対応することもできますので、図書館としてはリアルな蔵書とデジタルな電子書籍

をうまく使い分けて、ハイブリッドな図書館サービスを提供していくことができるようになります。

「デジとしよ信州」は5年間は継続される予定ですが、その先は利用動向次第のようです。電子書籍のメリットを上手に活用し、全国的にも珍しい全県協働で提供されるこの電子図書館サービスを盛り上げていきましょう。



シリーズ ひと



今回は新たに副村長として着任した越川豪さんと朝日小学校にCS(コミュニティスクール)コーディネーターとして着任した横山吉美さんにお話を伺いました。



Q1 出身は？

A1 松本市です。

Q2 前職は？

A2 会社役員です。

Q3 朝日村の印象は？

A3 良い意味でとても近い田舎だと思えます。あと、松本市も水が美味しいのですが、朝日村も水がすごく美味しいです。味が違うんですね。

Q4 これから副村長としてどうしていきたいか？

A4 外から来た人間なので、1日も早く受け入れてもらえる人間になりたいですね。その上で外と中とがミックスされることでいいものが出てくれば嬉しいですね。外、いわゆるよそ者が地元の人と交わる事で新しいものが出てくると思います。ですので、早く朝日村に馴染んで、受け入れてもらえるようにしていきたいです。

Q1 出身は？

A1 松本市今井です。

Q2 前任教は？

A2 山辺中学校です。

Q3 コミュニティスクールとは？

A3 住民の皆さんが学校に来てもらって子どもたちの支援をしてもらったり、子どもたちが例えばデイサービスに訪問して交流をするといった、朝日村の皆さんと学校とが手を取り合ってお互いに発展していく協同システムです。

Q4 CSコーディネーターとしてこれからどうしていきたいか？

A4 今現在色々な団体と連携していこうと動いています。商工会、社協、JA、観光協会、村役場などと話しながら村の抱える問題について少しでも子どもたちが手助けになればと思いますし、活動するにあたって住民の皆様協力していただければと思っています。

小水力発電調査説明会

5月31日に御馬越地区等の住民向けに長野県企業局より小水力発電事業の説明会が行われました。

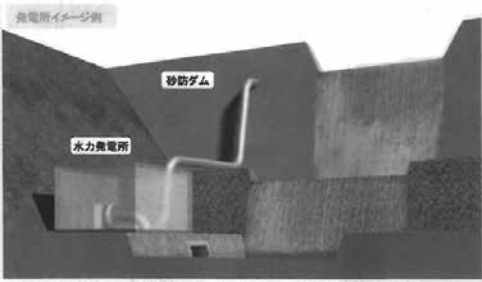
長野県企業局は「水の恵みを未来へつなぐ」を基本目標とする「長野県公営企業経営戦略」に基づき、「未来への投資」「先端技術の大胆な活用」「リスクマネジメント」「地域への貢献、地域との連携」「柔軟で俊敏な組織づくり」「経営の安定」という6つの視点に立って、現代の日本が直面する課題の解決や、厳しい状況にある地域の支援に向けて積極的に取り組んでいます。

その一環として脱炭素社会の実現（2050ゼロカーボン）に向け、水力発電所の建設を積極的に進めており、村内鎖川での水力発電の開発可能性について調査を進めています。

小水力発電とは、一般河川、農業用水、砂防ダム、上下水道などで利用される水のエネルギーを利用し、水車を回す

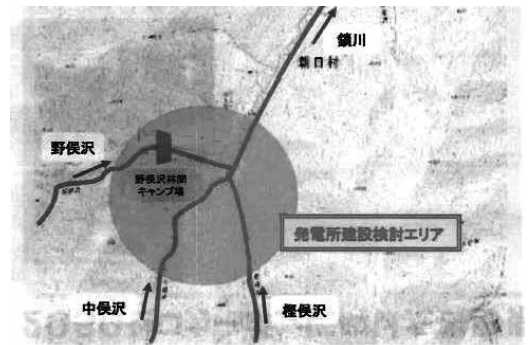
ことで発電する方法です。一般的には、河川に流れる水をダムに貯めることなく直接取水し、利用する「流れ込み式」の発電方式が採用されます。出力1,000kW以下の比較的小規模な発電設備を総称して「小水力発電」と呼ばれています。

この調査では、砂防堰堤の落差を活用しつつ、水環境に最大限配慮した開発を目指し、減水期間がなく魚類への影響が少ない直下に発電所を設置する案について検討していくとのことです。



減水期間がほとんどないため、環境への影響が少ない方式です。

発電所イメージ例



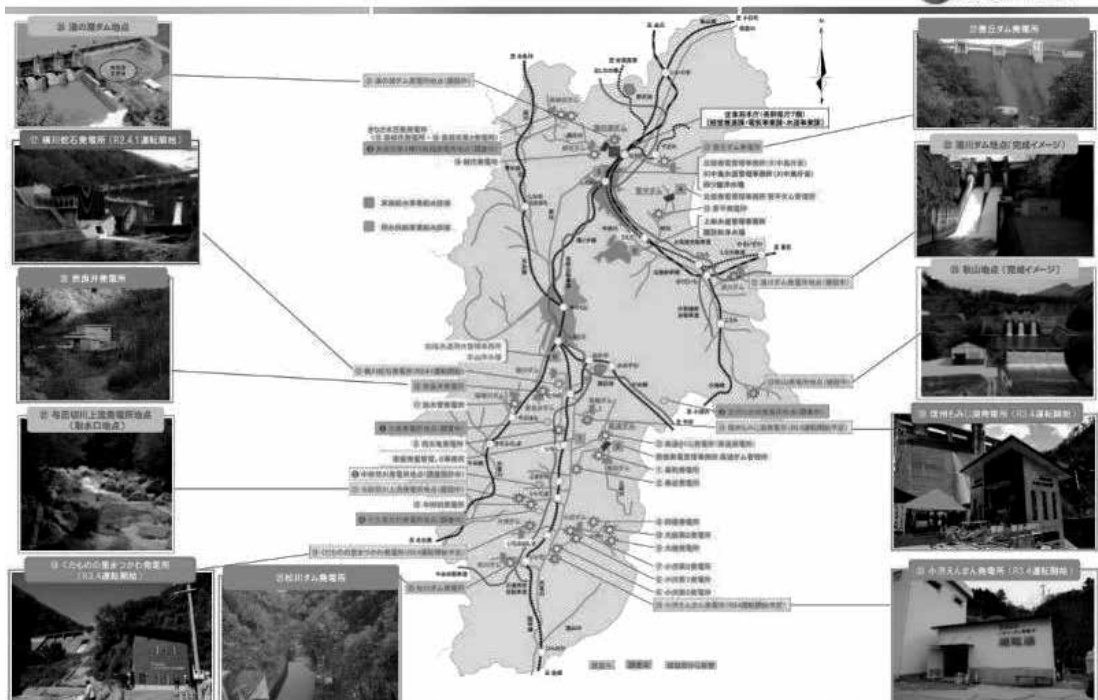
検討エリア

説明会では、始めに小林村長より、朝日村としては小水力発電を行ううえで何も問題がなく、可能性があるならば協力していきたいというスタンスではあるが、まだ何も決まっておらず、地区の皆さんの理解を得ながら進めていきたいとのあいさつがありました。

続いて長野県企業局より小水力発電事業に関する説明が、続いて調査事業者による調査の途中経過の報告がありました。

質疑応答では、安全対策や鎖川環境・魚類への影響に関する点等、多くの参加者から質問がありました。

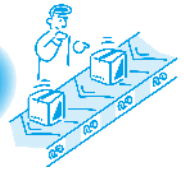
2050ゼロカーボンに向けて ～長野県企業局の取組～



2050ゼロカーボンに向けて



ショップおらが村の地元職 ⑦



カンロ株式会社 朝日工場



カンロ株式会社は、大正元年に宮本製菓所として山口県で起業し、カンロ飴のヒットに伴い昭和35年に社名を現在のカンロ株式会社と改称しました。その後も、キャンディーを中心とした菓子メーカーとして時代の変化やお客様のニーズに対応をした商品を開発し提供してきました。キャンディーだけでなく、グミや素材菓子の開発に取り組み、少しずつ事業を拡大し平成22年朝日村にグミ専用工場として朝日工場を新設し、翌年の平成23年から稼働が始まりました。主力商品はピュレグミやキャンデミーナグミなどがあり、全国のスーパーやコンビニエンスストアで販売

している商品を日々生産している工場です。

カンロは食品安全への取り組みとして、FSSC22000の取得や環境への取り組みとして、ISO14001を取得し、お客様に安全、安心な商品をお届け出来るよう日々生産している会社です。近年では、健康経営宣言の制定やダイバーシティの推進、更にはSDGsへの貢献など様々な活動に率先して取り組んでいます。毎年11月の創業記念日には、朝日村にカンロ商品を寄贈しています。寄贈したキャンディーは役場を通して村内の小学校、保育園、福祉施設など13施設に配られとても喜ばれました。



株式会社オー・エス・ピー

昭和59年にオノデンキの子会社としてスタートをして、その後完全独立をして株式会社オー・エス・ピーへ社名変更、平成23年に営業拠点を朝日村へ移転、創業38年になる地元で親しまれている電器店です。

〈営業内容として〉

- ・ パソコン、電化製品の販売、修理、サポート
 - ・ 太陽光パネル、蓄電池、エコキュート等の販売施工
 - ・ ホームページの製作、メンテナンス
 - ・ 住宅リフォーム事業
 - ・ キッチン、浴室、トイレなどの設備工事
 - ・ 外壁や屋根の塗装
 - ・ 雨どいなどの販売施工
 - ・ 物置、ウッドデッキ等エクステリアの販売施工
 - ・ 株式会社バッファローとの提携業務
- など多種多様な事業に対応をしています。

〈代表取締役上條俊行さんの一言〉

「弊社は昭和59年に私の父、上條俊策が設立いたしました。コンピュータをはじめ各種電化製品の販売・メンテナンスから、外壁塗装やお庭のメンテナンスまで、暮らしに

かかわるお仕事を承っております。一般個人のお客様をはじめ、県や市町村、大手企業からもご愛顧いただいております。何でもお気軽にご相談ください。朝日村唯一の電器店として、量販店には出来ない機動力を生かしたサービスで、地域に愛されるお店になりたいと思っております。」



私自身もコンピュータがおかしい、テレビが映らないなど困ったときに相談をしています。が、快く対応して頂き、いつも助かっています。

【連絡先】

株式会社オー・エス・ピー

☎ 99-15133



サラダの里通信

第40回鎖川ジョグ・ウォーク

6月5日(日)に、第40回鎖川ジョグ・ウォークがビュアラインあさひをスタートに開催されました。

コースは2コースが設定され、2kmのジョギングコースに30名、1kmのウォーキングコースに13名が参加しました。

松ノ木橋から朝日橋までを通行止めにして行われ、参加者は普段と違う広々とした道路を爽快に楽しみながら、個々のペースで走ったり、歩いたりしました。仲間や家族で参加し、お互いに励まし合う姿もありました。

ジョギングコースに参加した6年生の宮尾清貴さんは、「いつもよりしっかりと走れて良かった。」と自己記録に満足気な様子でした。

また、親子で参加した山本茜さんは、「コロナで色々が駄目だったけど、今日は皆で楽しく動くことができて良かった。」と久しぶりのイベントに喜びをかみしめていました。

コロナ禍の状況は続いています。このようなイベントが開催されることうれしさを感じます。



ジョグ・ウォークを楽しむ参加者



分館運営委員研修会

5月14日(土)中央公民館講堂において、分館運営委員研修会が開催されました。研修会は、各分館の運営委員が一堂に会し、社会教育活動の基本を学ぶため、年度初めのこの時期に毎年行われています。

始めに、長野県中信教育事務所指導主事の大工原雅将さんから「これからの公民館の役割」について、公民館の位置づけや公民館を取り巻く状況、公民館活動の充実についてお話がありました。その中で「少子高齢化や情報化、環境問題への対応など多くの社会的課題に対応するため、公民館は関係する機関・団体をつなぎながら、それらの課題の解決に向けた支援を行い、地域における「公共」を形成するための拠点となっていること」など、今求められている公民館活動の重要性について、運営委員の皆さんは改めて認識を深めました。

また、グループワークでは、分館活動でやってみたいことを出し合い、今後の分館活動の進め方などについて意見を交わしました。



グループワークの様子

土砂災害防災訓練

土砂災害防災訓練が、6月12日(日)に横出ヶ崎地区を対象に行われました。

この訓練は、6月の土砂災害防止月間に合わせ、土砂災害に対する防災訓練(情報伝達・避難)を行い、防災意識の高揚と被害の防止及び軽減を図るため行われたものです。

午前9時、自主防災組織による情報伝達訓練が実施され、避難所開設後、午前9時30分に避難指示を伝える告知放送により、地域住民が公会所に避難しました。

消防団の誘導の下、安全な経路を確認しながら約30名の住民が避難し、安否確認を行い、いざという時の対応方法について認識を深めました。

訓練後、長野県松本建設事務所職員による「土砂災害講習会」が行われ、ビデオによる土砂災害の実態や横出ヶ崎地区内の土砂災害危険区域等について、さらに、住民主導型避難警戒体制の構築の必要性などについての話がありました。

気候変動等により、全国で土砂災害が発生しています。このような訓練を通じて、地域で防災力の向上を図っていくことが重要と感じました。



土砂災害講習会

朝日小学校運動会

小学校運動会が、6月4日(土)小学校校庭で行われました。例年9月に実施していたそうですが、本年度は、準備期間や他のイベントとの調整から、始めて6月に実施されました。

この日は晴天に恵まれ、新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者等の人数が制限される中行われました。

かけっこや短距離走、リレーが行われ、一人ひとりの児童が、最後まで諦めず走りぬく姿がありました。

また、各学年ごとに成長に合わせた玉入れや竹引きなどの団体競技や6年生による華麗な朝日ソーランの踊りなどが披露され、保護者などからたくさん拍手が送られていました。

日ごろの成果を出し切り、精一杯に取り組んだ子どもたちは達成感に満ちていました。



1年生かけっこ



6年生朝日ソーラン

動き始めた夏の公民館イベント

自粛しておりました夏の公民館イベントが、withコロナの中、動き始めた公民館イベントの舞台裏である検討会等の内容を取材しお伝えします。

6月15日、お夏まつり第1回実行委員会は5月11日の執行委員会で検討したお夏まつり開催案を、村内各分野の有識者の方に、お諮りするかたちで、会議の様子は、多少の緊張感を伴い行われました。結果として執行委員会の案である【お夏まつりは規模を縮小して行う】との案が賛成多数で可決され、前段の執行

委員会での課題・質問や意見などが参加者一人ずつから出され検討をされました。皆さんの朝日村を思う気持ち、朝日村の子ども達を思う気持ちを背景に、貴重な意見が続きました。

私は皆さんのベクトルが開催実施に向け、ほぼ統一されたとの感想を持ちました。

第2回実行委員会の7月14日には、「花火の祭典」として実施する「お夏まつり」の道路規制や役割分担など、細部の検討がされ、8月6日(土)午後8時からお夏まつり花火の祭典が実施となります。

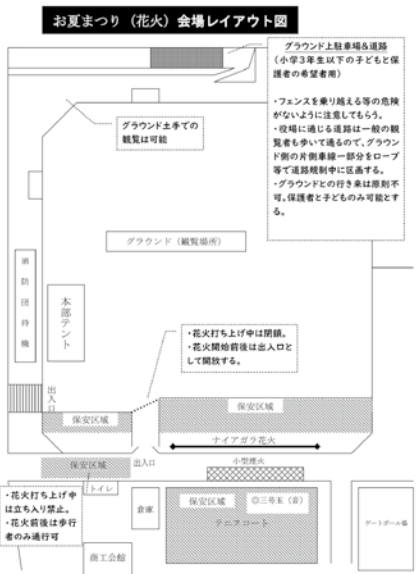
6月16日は、地区対抗野球の検討会で、昨年は雨天で中止となりましたが、会議の様子は、終始和やかな雰囲気で行われ、野球関係者に相談する形で、流れていきました。

結果として、コロナ感染症防止対策のため【村内居住者優先。学業により村外に居住している者は、PCR検査結果またはワクチン接種回数等の証明等の申請を義務づけ】【チームに参加賞を新設し、個人賞の廃止】などが参加者の了承のもと決定しました。また、野球関係者から【試合後のベンチ清掃は、選手によつ

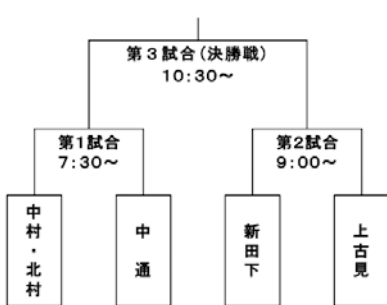
て行います】との提案が生まれ、選手役員が一体となるような大会になりそうです。7月12日に大会役員・主将合同会議があり、大会開催要綱・申し合せ事項などの確認と組合せ抽選が行われ、参加4チームの試合の組み合わせが決定しました。

8月14日(日)午前7時30分から試合開始となり、熱戦が繰り広げられそうです。

7月末時点、新型コロナウイルス感染症拡大で、「緊急事態宣言」「まんえん防止等重点措置の対象地域」となった場合は、お夏まつり、地区対抗野球大会ともに中止となります。



第75回 地区対抗野球大会組合せ
朝日村運動広場グラウンド Aコート



クールシェア・スポットを開設

朝日村教育委員会では、7月12日(火)から8月31日(水)までの間、村民を対象に中央公民館の冷房を完備した部屋(講堂・第一会議室・講義室)を「クールシェア・スポット」として無料開放します。8時30分から17時までの時間、学習や趣味の場として、コロナウイルス感染予防をしながら村民のみなさんご利用ください。

窓口情報

おくやみ

※本人の了承を得て掲載しています。

地区名	氏名	年齢	世帯主	地区名	氏名	年齢	世帯主
御馬越	斉藤 幸子	86	斉藤 茂	芦の久保	上條 公介	79	上條 安代
三ヶ組	塩原 武子	88	塩原 勇二	下洗馬	中村 友幸	91	中村 淳
上組	籠田 壽美恵	90	籠田 陽一	南下	武田 恵子	89	武田 英之
上組	青柳 ひで子	93	青柳 渡				

庭のアスパラ

朝日村に住み始めて25年が経ちました。越してきた当初は、小さくても素敵な庭にしたいと、やみくもに木や花の苗を植えたたり、オブジェを衝動買いして飾りたててみたりしていました。しかし、手入れの大変さから、だんだん面倒くさくなり、素敵とはほど遠い庭となっていました。

そんな庭に、数年前突然アスパラが生えてきたのです。たぶん近所の畑から鳥が運んできた実が発芽したのでしょう。採って食べるには細すぎるのでそのままにしておくと、背が伸びかわいい花をつけ、秋には赤い実がなりました。そして、3年目くらいからは、食べられる太さのものが数本収穫できるようになったのです。

立派なアスパラが顔を出しました。その後も次から次へと出るわ出るわ。期待以上の大収穫でした。10年くらいは収穫できるというアスパラ、あと数年楽しませてもらうために、「これからはできるだけ大切に手入れをしてあげなければ」と思っています。



ときには、トンボも休憩しています。

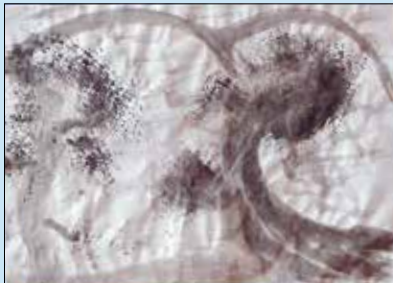
ほりうち さとこ
堀内 聡子
(清水ヶ丘)

お台所
エッセイ

151



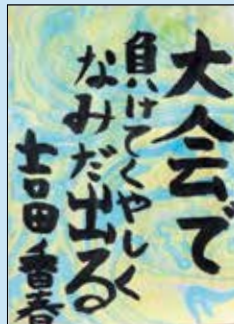
みんなのアトリエ



朝日小学校6年2組
なかむら かなと
中村 叶夢さん

「水墨画 風が吹く」

筆のかすりを利用して、風みたいになりました。



朝日小学校5年1組
よしだ こほる
吉田 香春さん

「書写 俳句」

練習では、「負けてくやくしく」の部分が大きくなってしまったけど、本番で小さくしたら、うまく紙におさまったので、よかったです。



朝日小学校2年1組
たけだ こうと
武田 空結さん

「たまごからロケットがでた」

YouTubeでロケットの動画を見て、作ろうと思いました。レモンみたいな形とへびみたいな形の卵にしようと思って作りました。